

2018年度 アクティビティ インストラクター資格認定セミナー 受講者の声

・これまで活動を通して離床を促す際に、活動の引き出しが少なく、苦渋する場面が多くありました。今回の講座ではいかに日常会話で患者様一人ひとりのことを理解できるかが大切だと学びました。初めから活動に参加していただくのではなく、気持ちを動かすことで活動に参加していただき、活動を行った上で役割の獲得や自己効力感の向上を促し、入院中の変化の生活でのQOL向上できるように努めたいと思います。また、自分の得意な活動を見つけて、患者様と楽しい時間を共有したいです。

(病院勤務 作業療法士 男性)

・アクティビティを見直すいい機会になりました。患者様の最高の笑顔を引き出すために、その人の好きな活動を見つけ、その活動を取り入れた効果が笑顔に繋がると説明ができるものを探していきたい。患者様に提供した反応の良い活動は、今後の生活拠点となる場所に情報提供するだけでなく、ご家族様にも知ってもらえる形に残したいと思いました。

(病院勤務 作業療法士 20代 女性)

・レクリエーションというものの考え方が変わりました。これまで身体を動かしてもらう事だけに目を向けていましたが、「心が動けば身体が動く」という言葉がとても納得できました。実践できるようにしていきたいです。

(病院勤務 作業療法士 女性)

・作業療法士として、利用者に提供しているアクティビティは利用者の幸せに繋がっているのかと改めて考えさせられました。利用者の生活歴や人生歴をしっかりと把握し、生活の中に落とし込んだアクティビティを提供したいと思いました。少しの間でしたが、様々な地域の人や他職種とのコミュニケーションを図ることができてよかったです。

(病院勤務 作業療法士 男性)

・他施設のアクティビティ ディレクターの取り組みや熱意を感じることができ、個人の特技や地域性、コミュニティを活かしたアクティビティの提供にも活用できるのではないかと希望が持てました。高齢者が日常生活の中で役割を持って活動できることに加え、アクティビティを活用した血湧き、肉躍る作業を提供できるよう努めたいと思いました。

(病院勤務 作業療法士 男性)

・久しぶりに作業療法の力を感じました。通所介護を運営していく上での指針が明確になった気がします。実際の活動のヒントにしたいと思います。現場では、リハ、看護、介護の統一が難しいため、リハに依存的ですが、他部門に説明し、協業する上でも役立てたいです。

(デイケアセンター勤務 作業療法士 女性)

・作業療法士として機能維持のための活動の提供ではなく、楽しいと思えること（あそびや仕事など）を楽しく行えるような手助けを行っていかねばいけないと改めて感じました。小児の部分でも同じだと思うので、まずはその人のことを知るから行いたい。その人の人生の中で楽しいと思っていることを形にしていくことが大切だと考えを改めました。(障害者支援センター勤務 作業療法士 女性)

・本人の人生歴を知って、本人の心を揺さぶるものを見つけることに時間を使うことも大切だと学びま

した。今後は、病棟やご家族から様々な情報を得て、生活の中で本人が生き活きとする活動を、その方の自尊心や、プロ意識を失わないように一緒にできたらと感じました。(病院勤務 作業療法士 女性)

・今は、病院勤務ですが、事例のデイサービスやグループホームなどにも非常に興味がありましたので、講義を聞き、さらに興味がわいてきました。様々な分野に目を向けて興味を持って取り組んでいきたいと思いました。(病院勤務 作業療法士 20代 女性)

・初対面の方々とアクティビティを通して、コミュニケーションを取ることができたため、職場でのコミュニケーションのツールとして使っていきたいと思いました。(病院勤務 作業療法士 20代 男性)

・活動量の少ない人や、他者との関わりが少ない方におもちゃなどを介した関わり、活動を提供することが出来るのだと改めて感じました。今日学んだことを対象者との関わり方や、アクティビティの企画に活かすことができればと思います。(病院勤務 作業療法士 20代 女性)

・「心が動けば体が動く」という言葉にとっても共感しました。ただ、リハビリを受けている人たちは、モチベーションの低い方もおられ、その方の興味のあるものやモチベーションが上がる療法を探していくことは大切なことだと思いました。今回、セミナーを受けて多くのことを学び有意義なものとなりました。施設に帰って情報を共有したいと思います。(介護老人保健施設勤務 理学療法士 男性)

・アクティビティは、夜間せん妄を予防するための日中の活動促進を目的としていましたが、一人ひとりの人生を大切にしながら、その人に合ったアクティビティを検討しなければ、その人の心は動かないということを学びました。今後は「個々に合ったアクティビティ」という視点に立って考えることができると思います。(病院勤務 看護師 40代 女性)

・「心が動けば身体が動く」「『したい』を『できる』に」、このキーワードを常に頭において日頃のケアを行っていきたくと思いました。現場でもアクティビティ・トイを導入したいと思いました。また一人で考えるだけでなく、チームで考えていければと思いました。

(デイサービスセンター勤務 介護福祉士 30代 社会福祉法人)

・これまでは、利用者さん一人ひとりにあわせたケアを考えることが大変だと思っていましたが、事例を聞いて、ほんの少し現状を変えることが利用者さんの喜びに繋がることを学ぶことが出来ました。このことを他の職員と共有し、利用者さんが、一日一つだけでも「よかった」と思えるような毎日をごせるケアができたらと思いました。(小規模多機能型居宅介護勤務 介護職 30代 女性)

	認定NPO法人 芸術と遊び創造協会	高齢者アクティビティ開発センター
	〒165-0026 東京都中野区新井2-12-10 認定NPO法人 芸術と遊び創造協会 中野オフィス(木・日曜日、祝日以外の10:00~17:30) TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699 URL http://www.aptycare.com/ E-mail aptc@aptycare.com	

担当:高山陽子